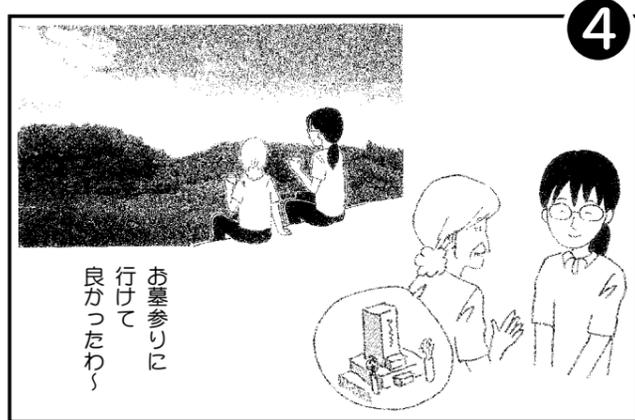
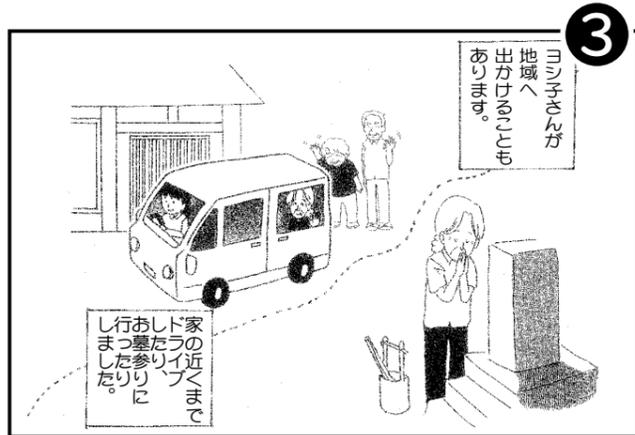


～住むところが変わっても、家族・友人・地域のつながりは続いていきます～



<解説>
グループホームに入居しても、家族や友人と会うことができます。入居者本人が地域のつどい（百歳体操）へ出かけることもできます。入居しても、家族や地域とのつながりは続くので、本人や家族、友人も、安心して毎日を送ることができます。
※施設等での面会については、新型コロナウイルス感染症等の感染状況に応じて対応が変更になる場合がありますので、この限りではありません。

平成 23 年 9 月号から不定期で掲載してきた「地域で支えよう大切な人」。今回で、まんがのストーリーは終わりを迎えます。認知症があってもなくても、地域の誰もが暮らしやすい日南町にするために、認知症を自分事としてとらえ、認知症を知り、備え、人とつながることが大切です。これまでのまんがは町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

これまでのまんがはこちらから！



日南町認知症の人を介護する家族の交流会

日南町では、「介護家族の交流会」を定期的で開催しています。交流会では、「認知症の人と家族の会鳥取県支部」の相談員を迎えて、家族の日々の思いを語り合ったり、介護の工夫を共有したりしています。ちょっと一息、みなさんと一緒にお話しませんか？
●日時：毎月第3水曜日 10:00～12:00 ●場所：日南町総合文化センター
～参加者のみなさんからいただいた感想・メッセージ～

自分の対応についてみなさんからの反応をいただいて、帰って妻と会話してみるようにしています。



問題は解決しなくても、話ができると本当に気が楽になります。

一人で抱え込まずに、みんなで聞いたり話したりしましょう！

お知らせ

9月6日（水）10:00～13:00に、パセオ無料休憩所にて、高齢者介護相談『オレンジカフェ～ねえ・きいて～』を開催します。お気軽にお立ち寄りください。

認知症のご相談は 役場福祉保健課内 地域包括支援センター TEL：82-0374



9月21日は「世界アルツハイマーデー」 9月は「世界アルツハイマー月間」です

「世界アルツハイマーデー」（9月21日）は、国際アルツハイマー病協会（ADI）が世界保健機関（WHO）と共同で、認知症への理解を深め、本人や家族への施策を充実させることを目的に、1994年に制定されました。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、世界各国で啓発活動が行われます。日本では、「公益社団法人認知症の人と家族の会」が中心となり、関係機関と連携して、全国で認知症に関する啓発活動が行われています。

日南町でも「自分や家族が認知症になっても大丈夫だと思える地域づくり」を目指して、認知症施策を推進しています。認知症について正しい知識を学び、理解を深め、一緒に考え、備えていきましょう。

不定期連載

まんがで学ぶ認知症「地域で支えよう大切な人」

第23回『地域でともに暮らそう大切な人』の巻（最終回）

編集協力 日南病院 日南福祉会

登場人物 ヨシ子さん、百合子さん、まさちゃん、えっちゃん、グループホーム職員・入居者

ヨシさんのグループホームでの生活が始まりました。しばらく慣れない生活で落ち着かないこともありましたが、日に日に新しい生活にも慣れて、落ち着いて過ごすこともできています。

グループホームでの様子



<解説>

ヨシさんのように、日によっては表情が硬く、グループホームにいることを忘れて家に帰ると言うなど、調子の良い時・悪い時は誰しもあります。そんな時、職員は話を聞いて不安な気持ちを落ち着かせたり、紛らわせたりします。

※今回のまんがではグループホームに入居しましたが、日南町内には以下のような施設があります。
○特別養護老人ホーム あかねの郷 ○グループホーム あさひの郷（認知症対応型）
○有料老人ホーム あかね荘 ○有料老人ホーム にちなんつくほ
町内の施設だと、より外出もしやすく、住み慣れた地域とのつながりを持ちやすいです。